

一般質問

避難所の住環境整備について

質問

命をつなぐはずの避難所で亡くなる人が、後を絶たない。その原因に、体育館での雑魚寝等による、肉体的、精神的な負担がある。段ボールベッドを設置することで避難所の住環境は大幅に改善できるが、北勢、中勢、南勢地



雑魚寝の避難所

区にある、県の備蓄倉庫等に、段ボールベッドを備蓄できないか。

防災対策部長

災害時に段ボールベッドが届けられるよう、現在、協定締結に向け調整を行っている。段ボール業界に対し、平常時から県が現物で定



段ボールベッドのある避難所

量を確保し、発災時に速やかに供給できるよう協議したいと考えている。国に対しては、被災市町にベッドが行き渡るように、備蓄量を増やすよう提案することを検討していきたい。

意見

「避難所の雑魚寝が嫌で避難したくない」という人もいる。段ボールベッドなどの整備状況を県民の皆さんにお知らせすることで、避難所での不安の軽減により、早期避難につながっていく。

東畑記念館について

質問



東畑精一氏は、志那豊地村（現松阪市）の出身で、国際的農業経済学の権威であり、農業基本法の制定に大きな役割を果

たされた。この東畑記念館は、嬉野川北町の三重県農業研究所の敷地内に建築されている。記念館は、昭和四十六年に東畑家が、県民に活用されることを望んで、県に寄贈されたものである。現在は、老朽化より3年ほど前から、立ち入り禁止となつているが、記念館を譲り受けた三重県が、維持管理をしていく責任があるのではないか。また、記念館を精一氏に関する

研究活動などに、使いたいとの要望もある。東畑記念館の今後の展望をどう考えているのかお伺いする。

農林水産部長

地元組織の皆さんや東畑家ゆかりの方々のご意見に真摯に応えながら、当施設の在り方を検討していきたい。

要望

できる限り、寄贈いただいた東畑家の気持ちに添えるよう、また、利用を望んでいる地元住民の期待にも沿えるよう今後の検討をお願いしたい。

災害からライフラインを守る事前伐採について

る。今後四年間で四万七千本を伐採する計画である。令和二年度は約四千万円で四年間の全体事業費は約四億円を見込んでいる。

要望

電力会社には停電に関するデータが豊富にある。声の大きい市町より電力会社の情報に基づいた、効果的な予算配分をしていただきたい。

内水面漁業の振興について

ざるを得ない組合も出てきた。漁協の解散によつて生じる河川環境への影響について伺う。

農林水産部長

内水面漁協に果たしていただく役割は重大であると考えている。市町等の関係機関との連携や国の事業等、最大限有効活用しながら、内水面漁協が継続的に役割を果たしていただけるよう支援してまいりたい。

質問

処理排水基準について

法的には、河川に放流する残留塩素濃度の上限や排水温度に規制がない。しかし、河川には多くの魚介類などが生息している。県の条例で規制すべきではないか。

環境部長

排水規制に関しては、国や他の自治体の動向を注視する



質問

令和二年度から台風などの自然災害の倒木により、電線などのライフラインが寸断され、県民の生活に大きな支障をきたすことを防ぐため「みえ森と緑の県民税」の活用と、「電力会社との協働」による、事前伐採が行われる。各市町への予算配分はどのように考えているのか。

農林水産部長

要望のあった、九市町と事業開始に向け協議を行っている。

質問

稚鮎放流事業補助金



平成十二年度は、義務放流費に対しての補助率は二十、九%の二千五十万円。令和元年度は、義務放流費に対しての補助率は三、三%の百万円となつている。このことから、義務放流費が捻出できず、解散せ

要望

補助金の算出根拠はどうなつているのか。根拠に基づいた算出をお願いしたい。

田中ゆじ事務所

〒515-0022 松阪市新屋敷町409番地

TEL: 0598-50-2322 FAX: 0598-50-2319

http://tanaka-yuji.xrea.jp Email:toubu-01@mctv.ne.jp

大河内町地内の国道166号線片側交互通行の情報

松阪市大河内町地内で、昨年10月30日に発生した法面崩壊のため、国道166号線が片側交互通行となっております。現在、10月7日の完成に向け準備中ですが1日でも早い全面開通を目指しておりますので、ご協力よろしく申し上げます。



とともに、必要に応じて県内における排水に係る実態把握や情報収集に努める。